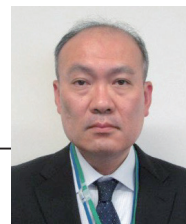


## 国スポ・障スポ開催に向け道路事業を推進

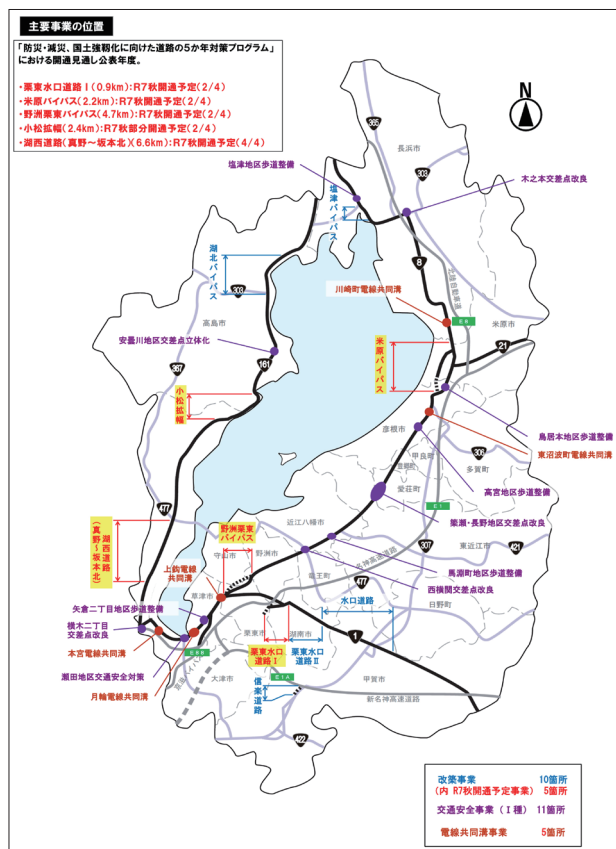
——「国道1号栗東水口道路」など5事業で開通時期を目標宣言

国土交通省 近畿地方整備局

滋賀国道事務所 所長 谷 成二



令和5年度 事業概要（滋賀国道事務所）



水口道路」など5路線で開通目標を掲げて道路整備を推進しているところです。これらに加え、安全で安心な道路空間整備や無電柱化、予防保全による老朽化対策等を強力に進めています。また、新たな道路ネットワークの構築・機能強化に向けた都市計画や環境アセスメントの実施など新規路線の調査計画も行っています。

### 2. 滋賀国道事務所における DX 等の取り組み

道路建設における DX(デジタル・トランスフォーメーション)では道路設計の3次元 CIM モデルの作成や、工事監督の遠隔臨場など現場の生産性向上に取り組んでいます。道路管理では路側カメラに AI 技術を導入し、冬季降雪時のスタック車や事故車両等による交通障害を自動検知することで早期発見・迅速な対応を図るとともに、「道の駅」の駐車場にも AI カメ

### 1. 滋賀国道事務所の事業の概要

滋賀国道事務所では、滋賀県内全域の直轄国道4路線(1号、8号、21号、161号)でバイパス事業や4車線化、交通安全対策、インフラの老朽化対策等に取り組んでいます。滋賀県は京阪神・中部・北陸地方を結ぶ交通の要衝に位置しており、その地の利を活かし現在も発展を続けています。一方で自然災害の激甚化・頻発化に伴い、豪雨や大雪の影響で現道の通行止めが相次ぎ、加えて県南部地域を中心に慢性的な交通渋滞も発生していることか

ら、地域経済活動に支障が生じるなどの課題が浮き彫りとなっています。そうした背景からも、防災・減災、国土強靱化の推進や道路ネットワークの構築・機能強化に対する地域からの期待も大きいと言えます。

2025年(令和7年)秋には滋賀県で国スポ・障スポの開催が予定されており、それに向けて「国道1号栗東



掘削工事が進む国道1号栗東水口道路上砥山地区



貫通した国道8号米原バイパスの彦根トンネル



国道161号小松拡幅北小松高架橋の上部桁架設状況

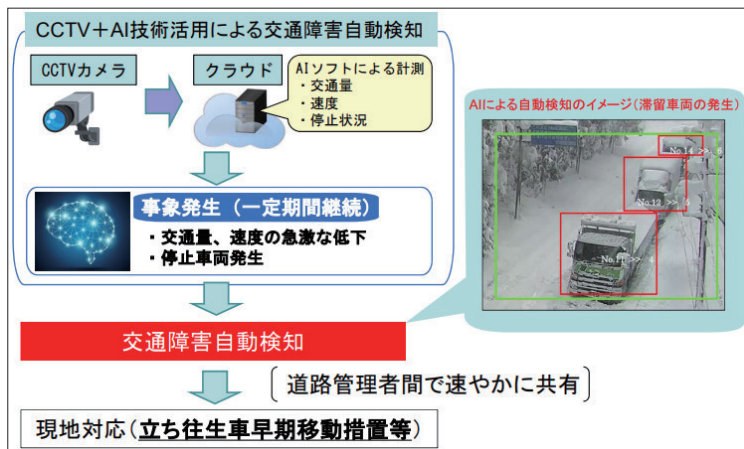
ラを設置し、平常時の利用実態や混雑状況をリアルタイムに把握しています。また、MX(モビリティ・トランスフォーメーション)の取り組みとしては、過疎地の高齢者の移動手段確保として自治体が行っている自動運転の支援を行っています。

### 3. さいごに

近年は自転車で琵琶湖を一周する「ビワイチ」で訪れる人も増えていますが、コース上には交通量が多く危険な箇所も残されています。琵琶湖を周回するバイパス整備や交通安全対策を実施することで自転車利用者の安

全性向上にも努めていきたいと考えています。

滋賀国道事務所では、今後とも地域の皆さまならびに道路利用者の皆さまのご期待に応えるべく、安全安心かつ快適な道路整備を目指し、各事業の推進に取り組んで参ります。



AI技術を導入した路側カメラによる交通障害車両自動検知



自動運転の状況（東近江市）



「ビワイチ」の様子